

地域住民による

避難所開設訓練を行いました

問 安心安全課

☎56-0611

11月20日(日)に市内一斉避難所開設訓練を行いました。

みなさんが心配されている大規模な地震が発生したら、身の安全の確保、公園など安全な場所への一時避難、家が壊れたら避難所への移動、避難所の開設、避難所での生活、元の生活へ…といった、場合によっては何か月もの時間でさまざまなことに向き合うこととなります。今回は、たくさんの防災メニューの中から「避難所の開設」のための訓練を行いました。

集合した参加者(北小)



体育館に資機材を運ぶための防災倉庫のカギ開けおよび資機材などの運び出し(南小事前訓練)



避難所内に個室を作るためポップアップパーティションなどを設営(長小)



避難所で感染症のまん延を防ぐための検温・健康チェック・受付対応(西小)



まちづくり協議会長・自治会連合会長・区長会議

ほそがやけんいち

細萱健一 会長(長湫地区北部自治会連合会長)

市内一斉防災訓練に代わり、市内一斉避難所開設訓練を行うようになって、今回で3年目となりました。

毎年感じるのは、自治会役員は、ほとんどが1年交代ではありますが、本訓練を毎年行っていくと、一部の内容であれ、一部の参加者だけであっても、心に残る内容、心に残る人が増え、いざというときの大きな力になると思います。

今回は「避難所の開設」の訓練をしましたが、避難所は開設して終わりではありません。避難生活が円滑に進むよう、避難所運営に関する訓練なども実施していきたいです。